

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4348331号
(P4348331)

(45) 発行日 平成21年10月21日(2009.10.21)

(24) 登録日 平成21年7月24日(2009.7.24)

(51) Int. Cl.

F 1

E 0 4 G 23/02 (2006.01)

E 0 4 G 23/02

D

請求項の数 7 (全 15 頁)

(21) 出願番号	特願2005-327708 (P2005-327708)	(73) 特許権者	000000240
(22) 出願日	平成17年11月11日(2005.11.11)		太平洋セメント株式会社
(65) 公開番号	特開2007-132132 (P2007-132132A)		東京都港区台場二丁目3番5号
(43) 公開日	平成19年5月31日(2007.5.31)	(73) 特許権者	599157332
審査請求日	平成20年4月18日(2008.4.18)		株式会社堀江建築工学研究所
			東京都渋谷区本町1丁目52番5号
		(73) 特許権者	501267357
			独立行政法人建築研究所
			茨城県つくば市立原1番地3
		(74) 代理人	100103539
			弁理士 衡田 直行
		(74) 代理人	100111202
			弁理士 北村 周彦

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 コンクリート構造体の補強構造および補強方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

上下一対のコンクリート梁と、該一对のコンクリート梁の間に介在する、該コンクリート梁よりも小さな厚みを有するコンクリート壁とからなる既設のコンクリート構造体の補強構造であって、

上記一对のコンクリート梁の間に介在し、かつ上記コンクリート壁の面に対して所定の距離を隔てて対向して配設された繊維含有水硬性組成物からなるパネルと、

上記コンクリート壁と上記パネルの間に少なくとも部分的に介在するグラウト材からなる接合部と、

上記コンクリート壁と上記接合部とに亘って埋設されたアンカー部材と、

上記パネルと上記接合部とに亘って埋設されたアンカー部材、
を含むことを特徴とするコンクリート構造体の補強構造。

10

【請求項2】

上記コンクリート梁と上記接合部とに亘って埋設されたアンカー部材を含む請求項1に記載のコンクリート構造体の補強構造。

【請求項3】

上記パネルが、上記コンクリート壁に対向する固着用の面を有する平板部と、該平板部の上端にて折曲して形成された、上側の上記コンクリート梁の下面に対して所定の距離を隔てて対向する固着用の面を有する上側の水平リブ部と、該平板部の下端にて折曲して形成された、下側の上記コンクリート梁の上面に対して所定の距離を隔てて対向する固着用

20